

年度評価シート

課名 ごみ減量推進課

施設の名称 静岡市資源循環啓発施設 ・沼上資源循環学習プラザ ・西ヶ谷資源循環体験プラザ	指定管理者名 一般財団法人静岡市環境公社
1 履行状況	
<p>業務仕様書及び事業計画書に従って適切に履行されている。</p> <p>(1) 維持管理業務</p> <p>施設の維持管理業務について、専門知識を有する第三者委託により法定点検等を実施し、各業務とも事業計画に従い適切に行われた。</p> <p>また、計 8 件（沼上資源循環学習プラザ 1 件、西ヶ谷資源循環体験プラザ 7 件）の修繕を適宜実施し、来館者が快適に施設を利用できるよう努めている。</p> <p>(2) 施設利用者数</p> <p>令和元年度（指定期間 3 年目）の来館者総数は次のとおりである。両施設とも令和元年度終了時点の目標を達成している。</p> <p>① 沼上資源循環学習プラザ 来館者数は 9,591 人で、令和元年度の来館目標に対して 101%の達成率となっている。</p> <p>② 西ヶ谷資源循環体験プラザ 来館者数は 23,953 人で、令和元年度の来館目標に対して 101.1%の達成率となっている。</p> <p>(3) 事業実施状況</p> <p>① 沼上資源循環学習プラザ</p> <p>学習を軸とした 4 R 啓発及び自然環境への関心を高めるための学習講座等を開催し、仕様書に定めた 50 回を上回る 90 回実施した。主に小学校、こども園等を対象に行われた竹粉と生ごみから作ったたい肥を活用し野菜を栽培する実践講座は、身近な自然環境への関心を高めるとともに資源の循環を実感させることができるものとなっており、高く評価できる。</p> <p>また、小学校を対象とした施設の社会科見学では、81 校 5,271 人の児童に対して、ごみ減量や環境問題について理解を深めるための講座や施設案内が行われ、96%の児童の理解を得ることができている。</p> <p>② 西ヶ谷資源循環体験プラザ</p> <p>体験を軸とした、吹きガラス講座をはじめとしたリユース・リサイクル講座が仕様書で定めた 600 回を上回る 664 回開催された。</p> <p>そのほか、温泉施設での季節湯や、子供服のリユースを目的としたリユースマーケット等のイベントを実施するなど、体験・参加型の企画による啓発を行った。</p>	

2 市民（利用者）からの意見・要望の内容とその対応状況の評価（クレーム対応 等）

利用者からの1件の意見があったが、即時対応しており、適切な対応がとられている。

[具体的な意見・要望と対応状況]

〈フリーマーケットの出店募集の方法と出店数について〉

意見等：フリーマーケットの出店募集の方法が電話受付では不公平なので、郵便による申し込みにしてほしい。出店場所が40区画では少ないので、区画の広さ半分で80区画とすべき。

対応：今回のフリーマーケットより要望どおり往復はがきによる申し込みへと変更を行った。また、出店区画に関しては、施設の駐車場が限られており出店数を増やすことが難しい。検討の結果、他のイベントが同時開催され駐車場の数が心配される場合は40区画より減らす方向へと調整を行った。

3 市民（利用者）へのアンケートや満足度調査の状況評価

（1）利用者満足度調査

市民サービス向上のための資料とすることを目的に、利用者の満足度を調査した。結果では、両施設とも設備・環境・職員の対応などの基本的な事項において、9割以上の利用者の満足が得られている。また各種講座・イベントについても満足度が9割以上となっており、適切な運営がなされていると評価できる。

（2）市民アンケート

市内大型商業施設で静岡市ごみリサイクル展（令和元年10月19日、20日）を開催した際にアンケートを実施した結果、施設の認知度は前年の50%から51%とほぼ変わらず、新規の利用者の増加を図ることが課題である。

4 指定管理者の経理状況の評価

指定管理業務についての収支状況については、概ね予算のとおり執行されており良好である。

5 総括的な評価（課題事項・指摘事項及びそれらの改善状況 など）

前年度事務自己発生の有無	無
前年度モニタリング調査における改善協議事項の有無	有

〈新型コロナウイルス感染症への対応〉

新型コロナウイルス感染症への対応については、市の要請に基づき、適切な時期からイベント等の自粛や施設の休館等の対応が図られた。

この際の利用者への周知については、速やかに管内掲示板での周知やホームページへの掲出を行う等、適切な時期・方法により行われている。

〈前年度モニタリング調査について〉

前年度のモニタリング調査においては、前前年度に廃棄処理した不用備品が備品管理簿に記載されたままになっていたため、備品の適正な管理の観点から、備品管理簿の内容に反映するよう求め、モニタリング調査実施後、備品管理簿は最新の内容に更新されていることを確認した。

施設の管理運営全般に関しては仕様書及び事業計画書に沿った良好な運営が出来ている。